

特別支援教育推進モデル事業 実施概要

愛知県教育委員会特別支援教育課

1 目的

特別支援教育推進モデル事業として2市町村に研究委嘱し、通級指導教室のある小・中学校2校を発達障害等支援拠点校として通常の学級に在籍する発達障害等の児童生徒に対する指導・支援方法について研究する。

その成果を各市町村の通級指導担当者及び通常の学級担任等に広めることで、小・中学校教員の指導力の向上を図る。

2 実施内容

(1) 指導・支援方法の研究

- ・発達障害等の児童生徒への指導事例集の作成（本課 Web ページへの掲載 研修会等で活用）

(2) 通常の学級と通級指導教室との連携体制の構築

(3) 県が主催する研修との連携

- ・特別支援教育コーディネーター研修
- ・通級指導担当者スキルアップ研修

3 発達障害等支援拠点校等における指導・支援方法の検証

(1) 評価専門員の設置

学識経験者2名及び特別支援教育課職員2名を「評価専門員」として設置し、発達障害等支援拠点校等における発達障害等のある児童生徒への指導・支援方法等についての外部評価を行う。

(2) 評価専門員の外部評価について

- ① 発達障害等の児童生徒への指導・支援方法等（事例）に対する評価
- ② 通級指導教室のカリキュラム及び児童生徒の「個別の指導計画」等、個人の記録に対する評価
- ③ 通常の学級と通級指導教室との連携体制に関する評価

* 評価専門員は年間2回（6月・2月）拠点校を訪問する他、必要に応じて指導助言等を行う。

4 研究委嘱期間

平成25年度～平成26年度

5 研究委嘱市町村（2市町村）

2市町村に2年間委嘱する。 ・清須市 ・豊川市

6 検討委員会

(1) 検討委員会について

学識経験者を委員長・副委員長として、支援拠点校等における発達障害等のある児童生徒への指導・支援方法について年間2回（8月・3月）協議する。

委員長 愛知教育大学 教授 都築繁幸（豊川市評価専門員）

副委員長 愛知淑徳大学 准教授 佐藤 賢（清須市評価専門員）

(2) 検討委員

- ・評価専門員 4名（学識経験者 2名、本課職員 2名）
- ・関係市町村教育委員会担当者 2名
- ・支援拠点校職員 2名
- ・研究協力者（県総合教育センター研究指導主事等） 1名

清須市における通常の学級に在籍する発達障害等の 児童への指導・支援体制について

一 通常の学級と通級による指導との連携による取組 一

清須市では「通常の学級に在籍するすべての児童に対する指導・支援の充実」のためには、通級による指導と通常の学級との連携が不可欠であることから、次の3点に焦点を当て学びの連続性を追究してきました。

- ① 「通級による指導」との連携
- ② 発達障害等に係る研修の充実
- ③ 通常の学級における指導と通級による指導の連続性を生かした指導事例集の作成

1 「通級による指導」との連携

清須市では平成23年度に通級指導教室が1教室設置され、24年度の増設にともない、現在、2教室の通級指導教室で指導が行われています。平成26年度は、古城小学校と春日小学校を拠点校として、巡回により清須市8校すべての小学校で通級による指導を行っています。

(1) 入級・退級システム

通級による指導が必要であると学校より申請があった場合、清須市教育委員会は通級による指導が適切であるかを判断します。適切であると判断した場合は、学校、保護者に対して入級通知を配付し、通級による指導が開始します。

また、通級による指導の必要性がなくなると学校より清須市教育委員会に報告があった場合は、清須市教育委員会で検討し、退級が適切であると判断した場合は、学校、保護者に対して退級通知を配付し、通級による指導が終了します。判断に際しては、本人・保護者の意思や願い、意向を尊重しながら検討します。

【入級について】



【退級について】



(2) 通級指導教室について保護者への周知

保護者に対して、入級の対象や指導内容を周知するため、清須市教育委員会では通級指導教室についての案内を作成しています。

各小学校では保護者から子どもについての相談があったときや保護者会等で案内を配付し、情報を提供しています。

また、小学校に入学する保護者に対しては、就学時健康診断時に通級指導教室について説明するとともに、案内を配布し、周知を図ります。

通級指導教室について（ご案内）
清須市教育委員会

通級指導教室とは
通級指導教室では、各教科等の指導は通常の学級で受けながら、決まった時間（週に1・2時間程度）だけ個別に指導を受け、学習上又は生活上の困難の改善・克服を図ります。

次のようなお子さんが対象です（通常の学級に在籍）

例えば
説明や指示を理解することが苦手なお子さん
言葉だけで説明されても、なんだかよく分からないんだ。それに、誰に言っているのかも分からないよ。

思い通りにならないと混乱してしまうお子さん
急に予定が変わると、ものすごく不安になっちゃうんです。それに、すぐには気持ちをきりかえられないんです。

すぐに手が出してしまうお子さん
嫌なことを言われたりすると、すぐに手がでちゃうんだ。それに、どんな言葉を言ってもはいけないの分からないよ。

授業が始まっても遊びがやめられないお子さん
遊んでいるときには、周りの声が耳に入りません。急に「やめなさい」と言われても、すぐにはやめられません。

その他に、「弱視や難聴」「すぐに席を立ってしまう」「集団行動が苦手」などのお子さんです。詳しくは学校にお問い合わせください。

学習の内容は
一人一人の学習や生活の困難に合わせたスキルやトレーニング等、自立活動の内容を中心に行い、みんなと楽しく学校生活が送れるよう対人関係や社会的スキルの向上を図ります。

通級指導教室やお子さんについてのご相談は、各学校の教頭または特別支援教育コーディネーターの先生にお問い合わせください。

【通級指導教室について（ご案内）】

(3) 通級指導教室と通常の学級担任、保護者との連携

通級による指導担当教員、通常の学級担任、保護者は連絡ノート等を通して、指導内容や子どもの様子などを報告し合い、指導につなげています。



H26年度まなびノート（通級指導） 週1時間		担当	NO. 9
通級日時	1月14日 水曜日	5	時間目
まなび教室から（指導内容等）		学級担任から	
○フリータイム	学習内容は一連の動き	最近の学習の様子	
○トレーニング	最後の1行の練習	学習の進捗	
・姿勢	安定していました。その間	大変進んでいました。	
・ソーシャルスキル	7つと話し合っていました	集団行動がよくなりました。	
・チャレンジ	11は穏やかに目標を終えて	11の目標を達成しました。	
・	取り返しという言葉を覚えて	いよいよと喜んでいます。	
保護者から	新しい年がスタートしました。3月までよろしくお願いします。		
その他	新しい年がスタートしました。3月までよろしくお願いします。		

【通常の学級担任と保護者の連絡カード】

(4) 個別の指導計画の作成

通級指導教室の入級が決まった児童については、個別の教育支援計画に基づき、通級による指導のための「個別の指導計画」を通常の学級担任と通級による指導担当教員が中心となって作成します。

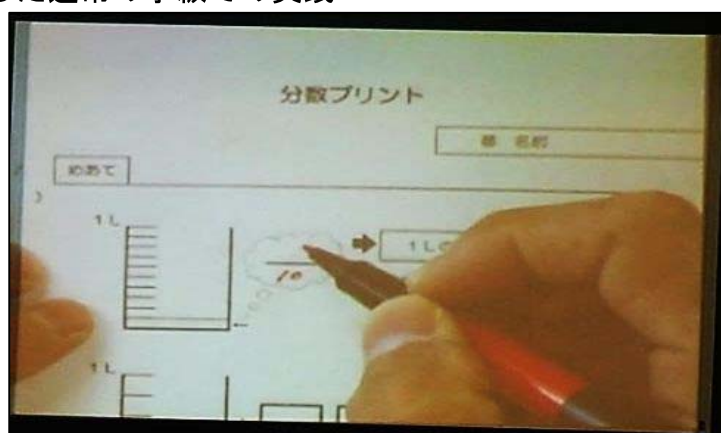
学期ごとに目標を設定し、通常の学級担任、保護者、通級による指導担当教員が共通理解を図りながら、通級による指導を行います。

小学校		年	児童名		作成日	平成	年	月
通級による指導開始	平成		年	月	(年)	週	時間	
					作成者	小	小	
長期目標 (一年間)	(通常の学級)							
	(通級による指導)							
学 期	短期目標 (通常の学級)			短期目標 (通級による指導)				
	支援の手立て (通常の学級)			支援の手立て (通級による指導)				
目標の達成 状況・評価								

【通級による指導用の個別の指導計画】

(5) 通級による指導を生かした通常の学級での実践

通常の学級担任と通級による指導担当教員が連携し、教材の共有や指導の連続性に配慮しながら、各学級で児童への指導や支援を行います。また、支援の方法について検証しながら実践を積み上げていきます。



【書画カメラを使った視覚的な支援 (通常の学級での実践)】

(6) 小・中学校移行支援会議

清須市教育委員会では、特別な支援を必要とする児童（小学校第6学年通常の学級に在籍）を対象に、各小学校と中学校で児童の現状や支援の方法について協議する場を設定し、支援が継続していくような場を設定しています。

2 発達障害等に係る研修の実施

通常の学級にも発達障害等を含む障害の可能性のある児童生徒は在籍しており、すべての教員が、特別支援教育について力量を高める必要があります。

そこで、特別な支援を必要とする児童生徒に関わる教員を中心に広く研修会を行っています。

(1) 特別支援教育コーディネーター
研修会（年2回）

(2) 清須市特別支援教育支援員
研修会（年2回）

(3) 清須市スクールカウンセラー
情報交換会（年2回）

(4) 清須市特別支援教育指導員による
巡回指導・助言（各小中学校年間3回程度）

(5) 特別支援教育研修会（平成26年度は3回実施）

【第1回 清須市特別支援教育研修会 6/6（金）】

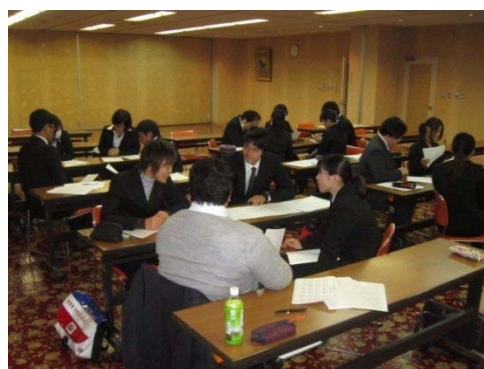
講演「通級指導教室で行う学習について」

春日小学校 通級による指導担当者 中村 富士枝 先生

講演「通級指導教室での学習を生かした学級での実践」

春日小学校 百々 昌男 先生

[対象] 通級指導教室に入級している児童・特別な教育的支援が必要な児童生徒が在籍する通常の学級担任、通級による指導担当教員、特別支援教育コーディネーター

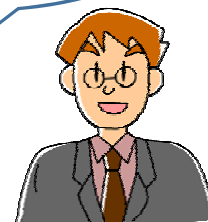


【研修会での事例検討】



【学習規律を視覚的に提示した実践】

次の授業の用意の仕方を写真で
分かりやすく掲示し、学級全体の
指導にもつなげました。



【第2回 清須市特別支援教育研修会 8/25 (月)】

講演「教室でできる特別支援教育のアイデア」

愛知淑徳大学 文学部教育学科
准教授 佐藤 賢 様

【対象】通級指導教室に入級している
児童・特別な教育的支援が必要な児童生徒が在籍する通常の学級担任、通級による指導担当教員、特別支援教育コーディネーター



【第2回特別支援教育研修会】

【第3回 清須市管理職への特別支援教育研修会 12/24 (水)】

講演「特別支援教育を推進させるために」

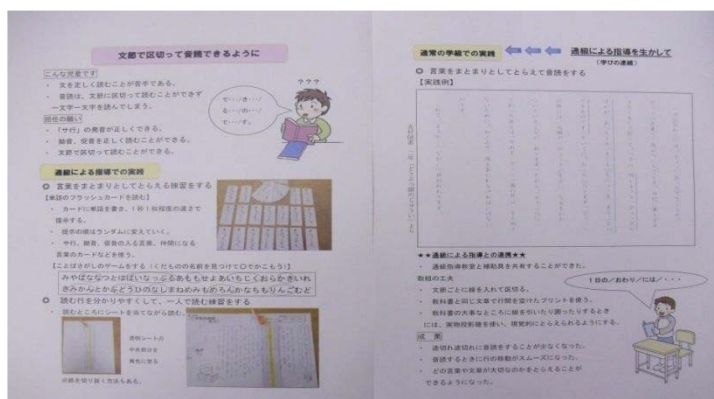
愛知淑徳大学 文学部教育学科 准教授 佐藤 賢 様

【対象】校長、教頭

3 指導事例集の作成

清須市教育委員会は、通常の学級担任による「通級による指導を生かした実践」を集約し、通級による指導と通常の学級での指導・支援の連携に視点を置いた指導事例集を作成しました。

指導事例集は愛知県教育委員会特別支援教育課のホームページに掲載するとともに、市内の小・中学校に配布し、活用を図ります。



【指導事例集「文節で区切って音読できるように」】

通級指導教室
での支援



つなぐ

通常の学級
での支援



以上の取組を継続させ、通常の学級に在籍するすべての児童生徒に対する指導支援を、さらに充実させていきたいと考えています。

豊川市における通常の学級に在籍する発達障害等の児童生徒への指導・支援方法について

一 通常の学級と通級指導教室との連携による取組 一

豊川市では、通常の学級に在籍する発達障害等の児童生徒に対する指導・支援の一層の充実を図るために通級による指導を小学校では平成17年度、中学校では平成5年度から開始し、現在、自校通級として8校、巡回通級として9校で実施しています。保護者からの通級による指導のニーズが高く、支援の対象者を拡充し、広範な支援体制を築いていくために通常の学級と通級指導教室との連携をより強固にする取組を追求してきました。

1 通常の学級と通級指導教室との連携

(1) 個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成

- ・ 就学前指導機関や医療機関等の情報をもとに、個別の教育支援計画を通常の学級担任と通級による指導担当教員が協働して作成する。
- ・ 個別の教育支援計画に基づき、通級による指導と通常の学級の指導の連続性を図るよう個別の指導計画を通級による指導担当教員が作成し、通級指導教室における指導の充実を図る。

(2) 通常の学級への支援

- ・ 保護者、通常の学級担任、通級による指導担当教員が同一步調で一貫した指導・支援を行うに当たって、児童生徒の実態を共有するために連絡帳等を活用する。
- ・ 通級指導教室で使用した教材・教具を、通常の学級担任、保護者と共有する。
- ・ 通級による指導担当教員が通級による指導を受けている児童生徒の通常の学級での様子を把握し、通級による指導の内容を協議する。

(3) 校内での連携

- ・ 特別な支援を必要とする児童生徒に対して、通常の学級担任や特別支援教育コーディネーター等と連絡調整を行い、支援の在り方を考えていく。
- ・ 校内委員会に参加し、通級による指導担当教員の立場から意見を述べ、児童生徒の支援について学校全体で共通理解を図るように関わる。

(4) 校外での連携

- ・ 専門機関（医療、福祉機関等）との連携に協力する。
- ・ 特別支援学校の巡回指導に協力する。

2 研修及び理解・啓発活動の実施

(1) 通級指導教室の担当者

- ・ 授業研究会（通級指導教室のある8校すべて年2回実施）
通級指導教室の授業参観と協議（助言者；愛知教育大学 都築繁幸教授）
- ・ 専門性スキル向上研修会（平成25年度は4回、平成26年度は4回実施）
子ども理解と教材の有効活用の研修
（助言者；NPO法人ゆう理事長 豊田和浩様）

(2) 通常の学級担任等

- ・ 発達障害基礎理解研修会 12月8日
「みんなちがって、みんないい!～発達障害という個性～」キャラバン隊公演
- ・ 通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする子どもの理解に関する研修会
1月26日「教育における平等とは何か」村松公也先生

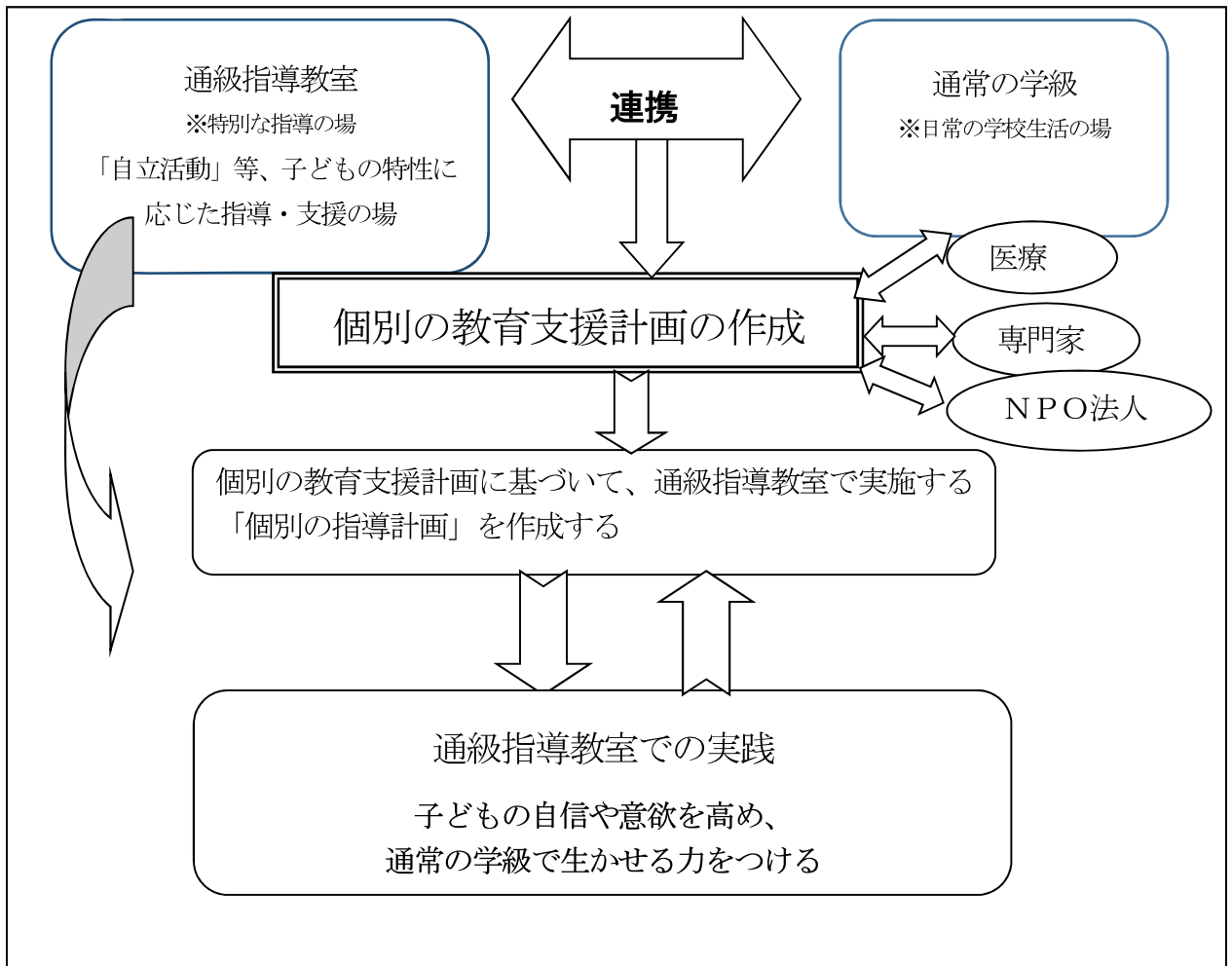
(3) 管理職研修会

- ・ 「特別支援教育システムの現状と課題について」
12月24日 愛知教育大学 都築繁幸教授

3 指導事例集の作成

豊川市教育委員会は、通常の学級と通級指導教室との連携の実践を豊川市通級指導担当者会の協力を得て、指導事例集を作成した。指導事例集は、愛知県教育委員会特別支援教育課のホームページに掲載し、市内の小中学校に配布し、情報の共有を図る。

豊川市における通常の学級と通級指導教室との連携



【検討委員名簿】（事務局を除く委員のみ、50音順、敬称略）

氏 名	所 属 等
岡田 悦子	豊川市教育委員会（指導主事）
海川 覚	清須市立春日小学校（校長）
城所 匡	豊川市立国府小学校（教諭）
久保 千聡	清須市立星の宮小学校（校長）
佐藤 賢	愛知淑徳大学（准教授）
都築 繁幸	愛知教育大学（教授）
中村富士枝	清須市立春日小学校（教諭）
松平 貴圭	豊川市立東部小学校（校長）